

増刊

実験医学増刊2022年Vol. 40 No. 20

## 新たな時代を迎えた 抗体医薬

(仮題)

編集／津本浩平（東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻）

### 関連キーワード・技術

- ◆ 抗体 ◆ バイオ医薬品 ◆ 構造生物学 ◆ ドラッグデリバリーシステム(DDS)
- ◆ 抗体薬物複合体(ADC) ◆ バイスペシフィック抗体
- ◆ シングルドメイン抗体(VHH・VNAR) ◆ バイオインフォマティクス ◆ 深層学習
- ◆ がん ◆ 免疫チェックポイント阻害剤 ◆ SARS-CoV-2 ◆ 自己免疫疾患
- ◆ 骨粗鬆症 ◆ 神経変性疾患 ◆ 潰瘍性大腸炎 ◆ 加齢黄斑変性 ◆ 喘息

小誌月刊2018年7月号にて次世代型の抗体医薬を特集し大きな反響をいただきましたが、その後これらの抗体医薬が相次いで上市するなど、抗体医薬の研究開発は着実に進行しています。それだけでなく新型コロナウイルス感染症の流行やバイオインフォマティクスの発展を背景に、抗体医薬の重要性や実力が広く認められ、研究開発は加速の一途です。まさに新たな時代に突入したといえる抗体医薬研究の現況を総覧するべく、満を持して本号を企画いたしました。アカデミア・製薬企業を問わず抗体医薬開発に携わる創薬研究者はもちろん、がん、リウマチ、神経変性疾患をはじめ抗体医薬が活躍するあらゆる疾患領域の医薬・生命科学研究者や医師、そして製薬企業の非研究者の方々にお役立ていただける書籍になります。

### 本書へのご出稿のポイント

- 第45回日本分子生物学会年会（11/30～12/2，幕張）にて先行販売予定！

### 広告料金・掲載概要

#### ページ広告

掲載面	刷色	スペース	掲載料金
表紙4	4色	1P	330,000
表紙3	4色	1P	220,000
	1色	1P	165,000
表紙2	4色	1P	275,000
	1色	1P	187,000
中付 <sup>※</sup> (記事中)	4色	1P	165,000
	1色	1P	121,000
後付	4色	1P	165,000
	4色(ブリード)	1P	181,500
	1色	1P	99,000
	1色	1/2P	60,500
差込		1枚	220,000
タイアップ広告 (記事広告)	4色	2P	掲載費 330,000 編集費 88,000

※写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます  
 ※ご掲載の頁をご指定される場合は、一割増の料金を申し受けます  
 ※ご掲載の頁をご指定される場合、各箇所につき1頁まで(先着1社)  
 ※表示価格は10%税込の価格です

#### 広告内容に関して

原則、下記の広告掲載を承っております。詳細はお問い合わせください

- 使用を研究用途にのみ限っている製品・サービス
- 診察・検査・診断・治療またはそれに類する、保険適用された製品・サービス  
・医療機器の場合、医療機器届出番号・製造承認番号の取得のみでは承りかねます
- 弊社が広告掲載をお受けした機関の告知など

#### 発行概要

- **発行部数** 6,000部
- **発行日** 2022年 12月 05日(月)発行予定
- **発行形態** B5判, オフセット印刷
- **広告締切** 申込締切: 2022年10月18日(火)  
原稿締切: 2022年10月25日(火)

※日程を延期する可能性がございます  
 ※事前に掲載内容を確認させていただく場合がございます

- **広告仕様** 1頁……………天地220mm × 左右150mm  
 1頁ブリード版……………天地257mm × 左右182mm  
 表紙4……………天地192mm × 左右150mm  
 表紙4ブリード版……………天地202mm × 左右160mm  
 1/2頁……………天地105mm × 左右150mm

- **記事広告** ①**貴社にて完成原稿をご用意いただく場合**  
 広告上部(右上など)に『PR記事』の旨をご明記ください。左記編集費(2P 88,000円)は発生いたしません。  
 ②**弊社で製作する場合**  
 貴社でご用意いただく原稿をもとに製作します(掲載費+編集費を申し受けます)。詳細はお問い合わせください。

#### 原稿製作に際して

- Adobe社の製作ソフト(Illustrator等, ver.2021まで対応可)にてご製作のうえ, EPSもしくはPDFにてご納品ください。また, 使用したOS・ソフトのバージョンをお知らせください
- テキストは完全アウトライン化し, カラー形式はCMYKにご設定ください(モノクロの場合はk版のみで制作, もしくはグレースケール化)
- 写真や図版は元ファイル(リンクファイル)を同送もしくは埋込処理ください
- ブリード版(裁ち落とし)は広告4辺に塗り足し+3mmをご用意ください
- トンボ等を用いて仕上がりサイズをご指示ください
- “オーバープリント設定”にご注意ください(設定次第でテキストやオブジェクトに意図せぬ色の変化や消失が起こる可能性があります)
- 原稿修正をご要望の際, 費用が発生する場合がございます

#### 【発行元】

株式会社 羊土社

〒101-0052  
 東京都千代田区神田小川町2-5-1  
 TEL:03-5282-1211 FAX:03-5282-1212  
 URL: www.yodosha.co.jp/

#### 【広告総代理店】

株式会社 エー・イー企画

〒101-0003  
 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 一ツ橋別館4F  
 TEL:03-3230-2744 FAX:03-3230-2479  
 E-mail: adinfo@aeplan.co.jp

## 広告掲載申込書

年 月 日

下記の通り、「実験医学増刊2022年 (Vol. 40 No. 20) 新たな時代を迎えた 抗体医薬」に広告掲載致します。

貴社名: \_\_\_\_\_ TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

所在地: 〒 \_\_\_\_\_

担当者名: \_\_\_\_\_ 所属: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

掲載場所: \_\_\_\_\_ 頁/枚 \_\_\_\_\_ 掲載料金: \_\_\_\_\_

支払方法: \_\_\_\_\_ 支払日: \_\_\_\_\_



序文	津本浩平（東京大学）
概論 抗体医薬研究の歴史と新たな潮流（仮）	津本浩平（東京大学）

## 第1章：最先端基盤技術

### I. 抗体医薬の生産と開発を支える基盤

- 1) 抗体医薬の製造技術（仮） 大政健史（大阪大学）
- 2) 完全ヒト抗体産生技術（仮） 押村光雄（株式会社 Trans Chromosomics）
- 3) 抗体医薬開発を支えるエピトープ解析（仮） 鎌田春彦（医薬基盤・健康・栄養研究所）
- 4) 抗体医薬開発を支えるターゲットバリデーション（仮） 田中利男（三重大学）
- 5) 抗体医薬の体内動態と DDS—がんを例に（仮） 安永正浩（国立がん研究センター）

### II. タンパク質工学と抗体医薬

- 6) バイスペシフィック抗体の創製と開発（仮） 井川智之（中外製薬）  
\*T 細胞誘導抗体や血友病治療抗体など
- 7) 病態部位で特異的に作用する抗体の創製と開発（仮） 井川智之（中外製薬）
- 8) 抗体の ADCC 活性と定常部を介した抗体の高機能化（仮） 加藤晃一（名古屋市立大）

### III. 抗体薬物複合体(ADC)

- 9) 抗体薬物複合体(ADC)の創製と開発（仮） 中川和彦（近畿大学）
- 10) 親和性ペプチドを用いた部位特異的修飾による抗体の高機能化技術（仮） 伊東祐二（鹿児島大学）
- 11) 抗体薬物複合体における糖鎖構造の役割の解明と高機能化（仮） 眞鍋史乃（星薬科大学）

### IV. IgG 以外を応用した抗体

- 12) VHH 抗体の創薬への応用（仮） 根本直人（埼玉大学）
- 13) サメ VNAR 抗体の創薬への応用（仮） 竹田浩之（愛媛大学）
- 14) ラツソ・グラフト法による新たな多重特異性抗体作製技術（仮） 高木淳一（大阪大学）、菅裕明（東京大学）

### V. バイオインフォマティクス

- 15) バイオインフォマティクスによる抗体分子設計（仮） 黒田大祐（東京大学）
- 16) 抗体の動力学とレパトア解析（仮） 山下和男（KOTAI バイオテクノロジー株式会社）
- 17) 抗体創薬における深層学習（仮） 白井宏樹（理化学研究所）

## 第2章 疾患別のバイオロジー

### I. がん

- 1) 糖タンパク質を標的としたがん特異的抗体の開発 (仮) 加藤幸成 (東北大学)
- 2) 免疫チェックポイント阻害剤のメカニズム (仮) 岡崎 拓 (東京大学)
- 3) 免疫チェックポイント阻害剤による免疫関連有害事象の機序 (仮)  
北野滋久 (国立がん研究センター中央病院)

### II. 感染症

- 4) SARS-CoV-2 に対する抗体医薬の開発 (仮)  
高橋宜聖 (国立感染症研究所), 前仲勝実 (北海道大学)
- 5) 細菌感染症に対する抗体医薬の開発 (仮) 中川一路 (京都大学), 中木戸誠 (東京大学)

### III. 抗体医薬の幅広い応用 \* 第2章-IIIは1原稿の文字数が他項より短めとなります。

- 6) 関節リウマチ・全身性エリテマトーデスと抗体医薬 (仮) 金子祐子 (慶應義塾大学)
- 7) 骨粗鬆症と抗体医薬 (仮) 竹内靖博 (虎の門病院)
- 8) 神経変性疾患と抗体医薬 (仮) 漆谷 真 (滋賀医科大学)  
\*ALS、アルツハイマー病など
- 9) 潰瘍性大腸炎と抗体医薬 (仮) 安藤 朗 (滋賀医科大学)
- 10) 加齢黄斑変性と抗体医薬 (仮) 小畑 亮 (東京大学)
- 11) 喘息と抗体医薬 (仮) 中島裕史 (千葉大学)

## 第3章 社会実装

- 1) 抗体医薬と医療経済 (仮) 原 智彦 (PMDA)
- 2) 抗体医薬に関する法規制 (仮) 石井明子 (国立医薬品食品衛生研究所)
- 3) 抗体医薬の知財戦略 (仮) 矢野恵美子 (窪田法律事務所)